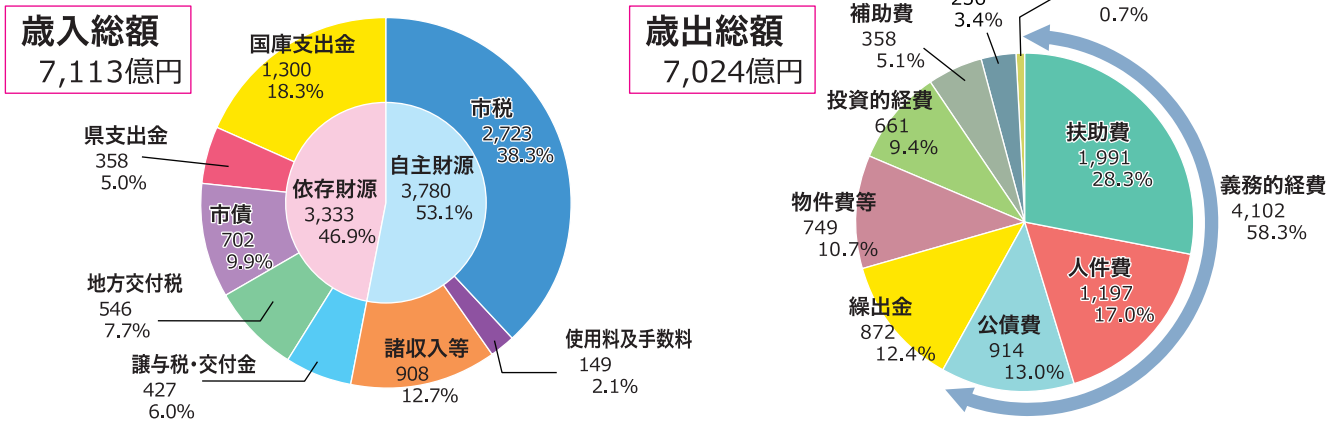


# — 第2回定例市会 9月議会報告 —

平成28年度一般会計決算は、6年連続で財源対策によることなく実質収支の黒字9億2,300万円を確保し、全ての財政健全化指標で指定都市の上位程度となりました。しかし、中長期的には少子・超高齢社会の進展に伴い社会保障費が増え続けることなどから、引き続き厳しい財政状況が予想されています。

## ■一般会計歳入歳出決算（平成28年度）（単位：億円）



## 「えき～まち空間」 基本計画の素案が発表されました！

三宮周辺地区の魅力向上のため、6つの駅を含む中心エリアの再整備が最重要課題となっています。

神戸市は、まちであり、駅である空間、「えき」（6つの駅とバス乗降場）と「まち」をつなぐ空間を「えき～まち空間」と名付け、官民共通の具体的な目標像やその実現に必要な取り組みを示す「えき～まち空間基本計画」の作成作業を進めており、先日その素案が発表されました。

素案によると、「えき～まち空間」を誰にとっても使いやすい、神戸の玄関口にふさわしい空間として整備し、その核として、三宮交差点を中心にフラワーロードと中央幹線の一部で、人と公共交通優先の空間「三宮クロススクエア」を創出する、としています。



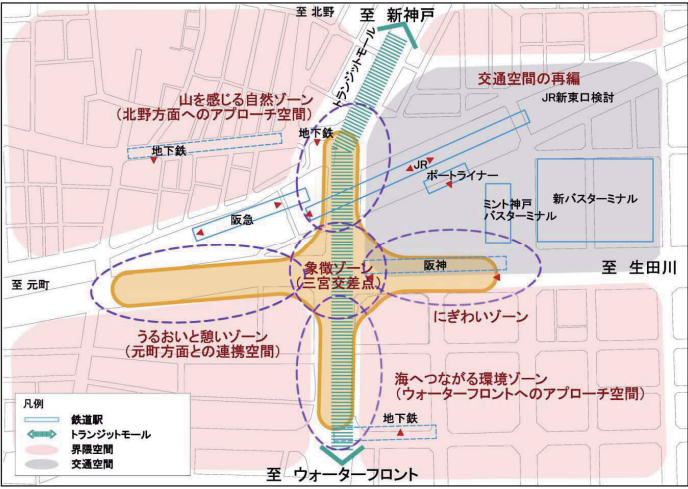
●俯瞰図（イメージ）



「三宮クロススクエア」は、「にぎわいゾーン」や「うるおいと憩いゾーン」などエリアごとに特色を持たせながら、乗換動線を改善して「えき」から「まち」への回遊性を向上させるとともに、通過交通を都心外縁部に誘導して人と公共交通の優先空間となります。

都心の交通は、商業、業務などの活動を支える交通は確保しながら、LRTやBRTなど新たな交通手段を導入するなど公共交通の利用促進が図られます。

スピード感を持って計画が具体的に進められるよう、私たちも取り組んでいきます。



「えき～まち空間」の構成図